

「第5章 地域福祉活動計画 進捗状況確認シート」の記載内容に関する委員からの質問等一覧

追加資料2

番号	事業名	委員からの質問等	回答
1-2-⑤	親子ふれあい事業	盲導犬を通して障がい当事者とのふれあいの機会も検討いただいておりますか	実施できるよう検討いたします。
1-2-⑦	ジュニアふくし体験	障がい当事者と一緒に障がい者スポーツを楽しむ機会を作っていたらどうか	実施できるよう検討いたします。
2-1-①	ふれあいふくし運動会	開催地区を1年毎に移動する輪番制だと公平性が保たれる気もしますが、それだと参加者が分散してしまう恐れもありますか？もしくは、各地区で行われている自治会の運動会と共催し、誰もが参加できる大会にするという方法では難しいでしょうか？	会場につきましては、参加団体との調整の上検討いたします。また各地区の運動会との共催につきましては、実施目的が異なる為、「ふれあい福祉運動会」として実施したいと考えております。
2-3-②	災害ボランティアセンター設置・運営のための支援体制づくり	東日本大震災の日や能登半島地震、阪神淡路大震災の日などは改めて災害について考える日になり情報も取りに行く方も多いと思いますので、その時期に合わせるというのも新たな参加者を得られやすいかもしれません。	他の事業と調整の上、検討いたします。
1-2-⑥	児童生徒の福祉活動費助成事業について	参加した児童・生徒がどのような感想をもったか、参加者の声があれば伺いたい。	年度終了後各学校より実績報告の提出があるが、大変好評をいただいています。
3-1-④	下野市社協特定相談支援事業	児童の相談数が伸びていないとのことだが、ケース数は多く、一部の事業所は持ちきれない状況にあると聞いている。相談数が増えない要因とは？	今後、各相談支援事業所と連携しながら対応いたします。
3-1-③	就労継続支援B型事業所なのはなすみれ	今後B型事業をどう方向づけるのか？	新たなサービスを提供し、利用者の拡充に努めていきます。